

第2章 三河家住宅の概要（追加分、家具）

第2章（追加分） 三河家住宅の家具

2.3. 家具調査の目的

三河家住宅では、住宅内部に残されていた家具と三河氏所有の蔵に保管されていた家具とを含めて、数十点の家具類が確認されている。しかし、それぞれ当初や中古といった時代区分、どの部屋で利用されていたのかなど、不明な点が多かった。

住宅を特徴づける重要な要素である家具について、一点毎の仕様や破損状況の概要を調査し、可能な範囲で建設当初の住宅として利用されていた時代の家具配置を推定した。史料が少ない中で、家具配置が一部なりとも判明することは、当時の生活像を考える一助となるものと思う。

なお、住宅内部に残されていた家具については、現在一時撤去し徳島市が保管している。

2.3.1. 調査内容

対 象	全数調査とする。
記 録	野帳作成。主要部分を採寸し、記録写真を取る。
分 類	時代、種類、意匠等によって家具の分類を行う。
家具配置想定	当初家具について、原位置を推定する。

2.3.2. 考察

<三越家具>

「大阪三越家具製作工場制作」の銘板が付いた家具が複数確認された。そのうち数点は建設当初の写真で確認でき、銘板の付いた家具については当初のものと分類した。また、脚椅子については銘板が確認できなかったが、脚や細部意匠、塗装など同系統のものについては同じく三越製の家具と判断し、当初のものと分類した。

三越家具のうち、1階廣間階段室、1階主人書斎兼客室、1階食室のものは写真史料、意匠、用途などからおおよその配置が判明した。

2階廣間階段室については、1階廣間階段室と部屋の性格が似ていることから、配置される家具を推定した。

「No.3 椅子+No.15 化粧台」はセットの家具であり、用途から1階主人夫妻寝室への配置と推定した。

「No.12 ライティングデスク」「No.37 回転椅子」は配置が不明であった。

＜三越以外の洋風家具＞

三越制作以外の洋風家具は
共通の意匠を持つ家具 1（脚、ねじり脚、塗装）／共通の意匠を持つ家具 2（装飾）／
中国風の意匠を含む家具／箆笥
の 5 つに分類できる。全て、三越の銘板は確認できなかった。

① 共通の意匠を持つ家具 1（脚、ねじり脚、塗装）

丸テーブル、小椅子、花台、角棚などの応接セットと箆笥、ベッドといった寝室用の家具からなる。家具の破損や劣化状況から、三越家具と同時期と考え、当初のものと分類した。

「No.10 角棚」が撤去前には 1 階応接室に配置されていたこと、「No.31 組立式ベッド（2 台）」が「No.24 組立式ベッド」よりも凝った意匠のものであることから、夫妻が利用したものと考えられる。1 階主人夫妻寝室と応接室は隣合う部屋であり、家具配置は意匠を合わせて行われたものと考え、この 2 室に配置されたものとした。

② 共通の意匠を持つ家具 2（装飾）

同心円状に 2 度の凹凸を持つ装飾が取付く家具。家具の破損や劣化状況から、当初のものと分類。それぞれが同じ部屋に配置されたものであるかは不明。「No.24 組立式ベッド」は 2 台あることから、セットで配置されたものと考え、3 人兄弟のうち 2 人の男兄弟の部屋であった、3 階子供部屋での配置されたものと推定した。

③ 中国風の意匠を含む家具

一部に中国風の意匠を含むか、脚に共通の意匠を持つ一連の家具。元は同じまとまりで配置されていた家具と考えられる。撤去前には配置が分散していたことから、用途を変えた部屋のものである可能性がある。ひとまとまりでの配置ということ considering、2 階娘室と応接室に配置されたものと推定した。

④ 箆笥

箆笥は和服も収納できるようになっているものだが、扉に着く姿見鏡に洋風の意匠が施されている。「No.20、No.22a、No.22b」の箆笥には裏面に「二共タンス店」の張り紙があり、徳島市福島町にあった家具屋での製作と判明した。「No.20」は唯一脚が取付き「①共通の意匠を持つ家具 1」に分類しているが、他の箆笥は配置が不明である。

⑤ 他と共通の要素が少ない洋風家具

「No.46 丸テーブル」は「No.40 丸テーブル」と意匠に類似があるが、他にセットとなるような家具が現存しない。「No.8 ミシン」はシンガーミシンが収納できる形式の家具。全体が輸入品であるかは確認できず、配置も不明である。

<その他の家具>

① 「マルニ」家具

広島の家具会社である「マルニ木工」の表示を持つ家具。マルニの表示が昭和8 [1933]年から昭和 27 [1952]年まで用いられた2つの円が横並びで一部重なり合うデザインのものであることから、その時期のものと分かる。配置は不明。

② 籐製の家具

全面的に籐を用いた家具。「No.36、No.38」の籐椅子は夏用の家具と思われる。年代や配置を推定する手がかりとなるものはない。

「No.47 籠」は入浴前の脱衣を置くものと思われ、1階脱衣室化粧室への配置が考えられるが、当初のものであるかは不明。

③ 和風の家具

唯一の和室である2階夫人室への配置が考えられるが、全て年代が不明。

④ 簡素なデザインの家具

他の家具と共通性もなく、装飾的な要素も少ない家具。配置年代ともに不明。

① 「三越」家具

03 1F 廣間階段室



No. 13 帽子掛は脚の意匠が廣間階段室古写真の家具（現存せず）と共通。

04 1F 主人書齋兼客室



椅子には[三越]の銘板なし。
No. 17 角飾棚,
No. 19 書棚, No. 21 書棚,
No. 33 安楽椅子は脚の意匠が共通。その他細部意匠、塗装等に共通の要素がある。



05 1F 食室



No. 04 棚, No. 11 飾棚, No. 16 食卓, No. 23 角飾棚は脚の意匠が共通。その他細部意匠、塗装など共通の要素で構成されている。

「三越」その他1（2階廣間階段室か）



No. 25 安楽椅子, No. 45 角棚は脚の意匠が共通。その他細部意匠、塗装も共通。配置箇所は2階廣間階段室か。

「三越」その他2



No. 03 椅子以外には[三越]銘板あり。共通性はあまりない。
No. 03 椅子, No. 15 化粧台は寝室に配置か。

② 「三越」以外の洋風家具

共通の意匠1 (脚、ねじり脚、塗装等)



No. 06 花台, No. 31 組立式ベッド
No. 40 丸テーブル, No. 41 小椅子
はねじり脚が共通。
No. 18 箆笥, No. 31 組立式ベッド
No. 40 丸テーブル は脚の意匠が共
通。
No. 10 角棚, No. 18 箆笥 はつま
みの意匠が共通。
連続する寝室・応接室に配置さ
れる家具の可能性あり。



共通の意匠2 (装飾)



装飾に同じものが用いられてい
る。それ以外に共通の要素は見
られない。洋風の意匠は少ない。



中国風の意匠を含む家具



脚、つまみ、籐、装飾等に共通
の意匠が使われている。
配置は不明。



箆笥



箆笥は計5台現存(当初の家族
構成と合致)
No. 14 はつまみと脚に他の家具
と共通性があり、No. 18 もつま
みが共通の家具がある。

No. 20, No. 22a, No. 22b は分解し
て持ち運びができる。
「二共タンス店」の張り紙あり。

他と共通の要素が少ない洋風家具



No. 40 丸テーブルと形状が似ているが、細部意匠に共通性のある椅子等の家具がない。応接セットの一部。



[SINGER] ミシン。ミシン本体以外も輸入品であるかは不明。

③その他の家具

「マルニ」家具



それぞれ[マルニ]の表示がある小椅子。中古の家具。

籐製の家具



枠や脚に竹を用い、その他座面や背もたれには籐を編んでいる家具。

和風の家具



それぞれに共通の要素が少ない和風の家具。年代、配置とも不明。



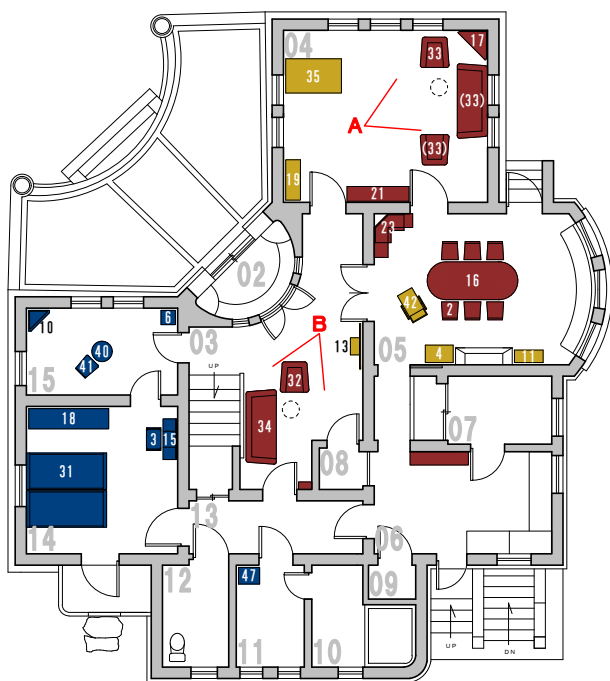
簡素なデザインの家具



他に共通の要素の少ない家具。デザインは簡素。年代、配置とも不明。

推定当初家具配置

1F + 2F



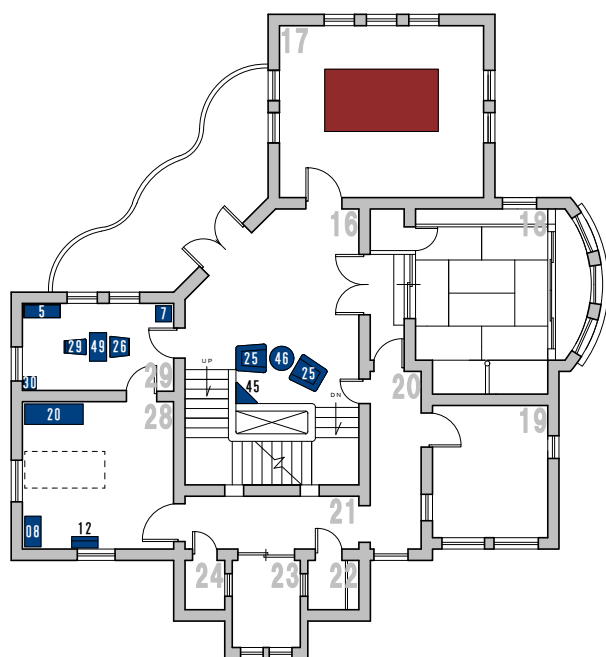
1階平面図



A : 1階廣間階段室

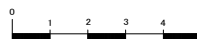


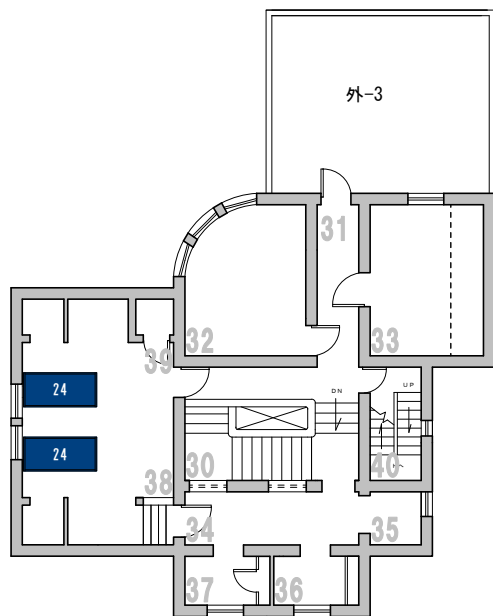
B : 1階主人書斎兼客室



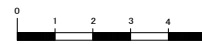
2階平面図

- | | |
|------------|----------|
| 02 玄関 | 16 廣間階段室 |
| 03 廣間階段室 | 17 球突室 |
| 04 主人書斎兼寢室 | 18 夫人室 |
| 05 食室 | 19 温室 |
| 06 台所配膳室 | 20 廊下 |
| 07 女中室 | 21 廊下 |
| 08 電話室 | 22 暗室 |
| 09 配管室 | 23 化粧室 |
| 10 廊下 | 24 便所 |
| 11 浴室 | |
| 12 脱衣室化粧室 | 28 娘室 |
| 13 便所 | 29 応接室 |
| 14 主人夫妻寢室 | |
| 15 応接室 | |










- 30 階段室
- 31 第二物置
- 32 第一物置
- 33 廊下
- 34 温罨室
- 35 廊下
- 36 洗面所
- 37 便所
- 38 小供室 南
- 39 小供室 北
- 40 塔屋階段室



3 階平面図

- 史料等から配置が判明する家具
- 配置が判明する家具と意匠に共通の要素を持ち、配置が推定できる家具
- 種類や意匠などから、配置を推定した家具

三河家住宅家具調査リスト

写真 	番号	1	
	品名	丸テーブル	
	部屋名	不明 [1階応接室]	
	W/D/H	時代	破損
	φ602/-/635	②?	C
備考			(再用) ○ 簡素な意匠。中古か。応接室用と考えられるが、セットの椅子は不明。
写真 	番号	2	
	品名	椅子	
	部屋名	1階食室 [1階食室]	
	W/D/H	時代	破損
	445/475/1,010	①	C
備考			(再用) ○ 生地は張替えられている。脚の意匠は食室の家具に共通。「三越」か
写真 	番号	3	
	品名	椅子	
	部屋名	1階主人夫妻寝室? [1階主人書斎兼客室]	
	W/D/H	時代	破損
	600/380/540	①	B
備考			(再用) ○ No.15「化粧台」とセット。座面の布地は劣化。裏の合板(後補)が外れかけている。接合部にゆるみアリ。「三越」か
写真 	番号	4	
	品名	棚	
	部屋名	1階食室 [1階食室]	
	W/D/H	時代	破損
	740/460/800	①	C
備考			(再用) ○ No.11「飾棚」と同じ意匠、塗装。「三越」銘板あり。
写真 	番号	5-1	
	品名	棚(下)	
	部屋名	2階応接室? [1階脱衣室化粧室]	
	W/D/H	時代	破損
	975/350/710	①	C
備考			(再用) ○ 中華風の意匠。赤味のある茶色。

<p style="text-align: center;">写真</p> 	<p style="text-align: center;">番号</p>	<p style="text-align: center;">5-2</p>	
	<p style="text-align: center;">品名</p>	<p style="text-align: center;">棚（上）</p>	
	<p style="text-align: center;">部屋名</p>	<p style="text-align: center;">2階応接室？ [1階脱衣室化粧室]</p>	
	<p style="text-align: center;">W/D/H</p>	<p style="text-align: center;">時代</p>	<p style="text-align: center;">破損</p>
	<p style="text-align: center;">940/330/780</p>	<p style="text-align: center;">①</p>	<p style="text-align: center;">C</p>
	<p style="text-align: center;">備考</p>		<p style="text-align: center;">(再用) ○</p> <p style="text-align: center;">中華風の意匠。赤味のある茶色。</p>
<p style="text-align: center;">写真</p> 	<p style="text-align: center;">番号</p>	<p style="text-align: center;">6</p>	
	<p style="text-align: center;">品名</p>	<p style="text-align: center;">花台？</p>	
	<p style="text-align: center;">部屋名</p>	<p style="text-align: center;">1階応接室？ [1階主人書斎兼客室]</p>	
	<p style="text-align: center;">W/D/H</p>	<p style="text-align: center;">時代</p>	<p style="text-align: center;">破損</p>
	<p style="text-align: center;">380/375/740</p>	<p style="text-align: center;">①</p>	<p style="text-align: center;">C</p>
	<p style="text-align: center;">備考</p>		<p style="text-align: center;">(再用) ○</p> <p style="text-align: center;">洋風の意匠。No. 40「丸テーブル」とNo. 41「椅子」と脚の意匠と色味が近い。「三越」か？</p>
<p style="text-align: center;">写真</p> 	<p style="text-align: center;">番号</p>	<p style="text-align: center;">7</p>	
	<p style="text-align: center;">品名</p>	<p style="text-align: center;">花台？</p>	
	<p style="text-align: center;">部屋名</p>	<p style="text-align: center;">2階応接室？ [1階食室]</p>	
	<p style="text-align: center;">W/D/H</p>	<p style="text-align: center;">時代</p>	<p style="text-align: center;">破損</p>
	<p style="text-align: center;">420/425/640</p>	<p style="text-align: center;">①</p>	<p style="text-align: center;">C</p>
	<p style="text-align: center;">備考</p>		<p style="text-align: center;">(再用) ○</p> <p style="text-align: center;">中華風のデザイン。赤味のある茶色。</p>
<p style="text-align: center;">写真</p> 	<p style="text-align: center;">番号</p>	<p style="text-align: center;">8</p>	
	<p style="text-align: center;">品名</p>	<p style="text-align: center;">ミシン</p>	
	<p style="text-align: center;">部屋名</p>	<p style="text-align: center;">不明 [1階主人書斎兼客室]</p>	
	<p style="text-align: center;">W/D/H</p>	<p style="text-align: center;">時代</p>	<p style="text-align: center;">破損</p>
	<p style="text-align: center;">810/430/750</p>	<p style="text-align: center;">①？</p>	<p style="text-align: center;">B</p>
	<p style="text-align: center;">備考</p>		<p style="text-align: center;">(再用) ○ (展示用)</p> <p style="text-align: center;">内部に「SINGER 15188 SIMANCO」ミシンが収納。台にはキャスター付。</p>
<p style="text-align: center;">写真</p> 	<p style="text-align: center;">番号</p>	<p style="text-align: center;">9</p>	
	<p style="text-align: center;">品名</p>	<p style="text-align: center;">棚</p>	
	<p style="text-align: center;">部屋名</p>	<p style="text-align: center;">2階夫人室（和室）？ [2階夫人室]</p>	
	<p style="text-align: center;">W/D/H</p>	<p style="text-align: center;">時代</p>	<p style="text-align: center;">破損</p>
	<p style="text-align: center;">907/298/798</p>	<p style="text-align: center;">不明</p>	<p style="text-align: center;">C</p>
	<p style="text-align: center;">備考</p>		<p style="text-align: center;">(再用) ○</p> <p style="text-align: center;">意匠が簡素。中古か。和室用の意匠。</p>

写真	番号	10	
	品名	角棚	
	部屋名	1階応接室？[1階応接室]	
	W/D/H	時代	破損
	490/490/1,440	①？	B
	備考	(再用)	
薄い茶色。扉のつまみ意匠はNo. 018「洋服箆笥」と同じ。三越風ではない。			
写真	番号	11	
	品名	飾棚	
	部屋名	1階食室[1階食室]	
	W/D/H	時代	破損
	758/332/1,442	①	B
	備考	(再用)	
No. 4と同じ意匠、色。改造が多い。「三越」			
写真	番号	12	
	品名	ライティングデスク	
	部屋名	不明[1階主人書斎兼客室]	
	W/D/H	時代	破損
	695/(185)/1,090	①	B
	備考	(再用)	
建付け不良、吊り金具に破損あり。塗装は薄い茶色。「三越」			
写真	番号	13	
	品名	帽子掛	
	部屋名	1階廣間階段室[1階廣間階段室]	
	W/D/H	時代	破損
	1,203/(248)/1,880	①	B
	備考	(再用)	
革張りの範囲の劣化が顕著。小修繕で展示可。傘立て、鏡、帽子掛、収納が可能。脚のデザインが古写真の1階廣間階段室の丸テーブル(現存せず)と共通。塗装は濃い茶色。「三越」			
写真	番号	14	
	品名	箆笥	
	部屋名	不明[1階廣間階段室]	
	W/D/H	時代	破損
	1,213/505/1,430	①？	A
	備考	(再用)	
蟻害顕著。扉欠失。引出しのつまみがNO. 24「組立式ベッド」NO. 27「小椅子」の装飾と同じデザイン。			

写真 	番号	15	
	品名	化粧台	
	部屋名	1階主人夫妻寝室? [1階主人書斎兼客室]	
	W/D/H	時代	破損
	1,074/356/1,665	①	C
	備考	(再用) ○ No.3「椅子」とセット。塗装は赤味のある茶色。両脇鑑は可動。三面鏡。「三越」	
写真 	番号	16	
	品名	テーブル	
	部屋名	1階食室 [1階食室]	
	W/D/H	時代	破損
	2,400/1,000/700	①	B
	備考	(再用) ○ 食卓。長手方向に伸縮する。天板に傷跡が多い。「三越」	
写真 	番号	17	
	品名	角飾棚	
	部屋名	1階主人書斎兼客室 [1階主人書斎兼客室]	
	W/D/H	時代	破損
	1,020/(773)/2,000	①	B
	備考	(再用) ○ 建付け不良。金具、装飾部に破損あり。脚のデザインは書斎の家具に共通のもの。塗装は濃い茶色。	
写真 	番号	18	
	品名	箆笥	
	部屋名	1階主人夫妻寝室? [1階廣間階段室]	
	W/D/H	時代	破損
	2,117/533/1,800	①?	B
	備考	(再用) △ No.10「角棚」と引出しのつまみデザインが同じ。部材の欠失や小さな破損が多数見受けられる。	
写真 	番号	19	
	品名	角書棚	
	部屋名	1階主人書斎兼客室 [1階主人書斎兼客室]	
	W/D/H	時代	破損
	1,140/390/2,000	①	C
	備考	(再用) ○ 脚のデザインは書斎家具に共通のもの。塗装は濃い茶色。棚板を外した状態で扉を開けると前のめりになる。バランスが悪い。「三越」	



写真 	番号	20	
	品名	箆笥	
	部屋名	不明 [1階主人書斎兼客室]	
	W/D/H	時代	破損
	1,544/539/1,861	①?	B
	備考	(再用)	○
三つに分解可。それぞれに持ち手が付く。装飾部材に欠失あり。合板は剥離している。色は薄めの茶色。「二共タンス店」			
写真 	番号	21	
	品名	書棚	
	部屋名	1階主人書斎兼客室 [1階主人書斎兼客室]	
	W/D/H	時代	破損
	1,708/391/2,000	①	B
	備考	(再用)	○
脚のデザインは書斎家具に共通。裏の合板は剥離している。室内の配管を避ける切欠きあり。ステンドグラスはゆるんでいる。「三越」			
写真 	番号	22a	
	品名	箆笥	
	部屋名	不明 [1階主人書斎兼客室]	
	W/D/H	時代	破損
	1,303/504/1,860	①?	B
	備考	(再用)	○
No.20「箆笥」と仕様は同じ。姿見なし。二つに分解可。それぞれに持ち手が付く。塗装は薄めの茶色。「二共タンス店」?			
写真 	番号	22b	
	品名	箆笥	
	部屋名	不明 [蔵]	
	W/D/H	時代	破損
	1,303/504/1,860	①?	A
	備考	(再用)	△
No.20「箆笥」と仕様は同じ。姿見なし。二つに分解可。それぞれに持ち手が付く。塗装は薄めの茶色。「二共タンス店」?			
写真 	番号	23	
	品名	角飾棚	
	部屋名	1階食室 [1階食室]	
	W/D/H	時代	破損
	(1,149)/(1,009)/1,690	①	A
	備考	(再用)	△
隅の脚欠失。引出し一部欠失。その他にも破損箇所多数。塗装は濃い茶色。現存家具の中でも特徴的なものの一点。「三越」			

写真	番号	24	
	品名	組立式ベッド（×2台）	
	部屋名	3階小供室？ [蔵]	
	W/D/H	時代	破損
	901/1, 936/907	①？	C
	備考	(再用) ○	
<p>ボードの一部は籐製。No. 14「箆笥」No. 27「小椅子」と同じ装飾が付く。破損は全体に軽度。接続用の金具に発錆あり。</p>			
写真	番号	25	
	品名	安楽椅子（×2脚）	
	部屋名	2階廣間階段室？ [蔵]	
	W/D/H	時代	破損
	774/770/935	①？	A
	備考	(再用) △	
<p>表面革張りの劣化が顕著。展示用でも張替えが必要。肘掛尖端の飾りはカーテン用と同じもの。セットのテーブルは不明。「三越」？</p>			
写真	番号	26	
	品名	肘掛椅子（×2脚）	
	部屋名	2階応接室？ [蔵]	
	W/D/H	時代	破損
	560/590/846	①？	A
	備考	(再用) △	
<p>中華風の意匠。背もたれに籐。座面革張りの劣化顕著。展示用でも張替え必要。2脚とも脚に蟻害あり。塗装は赤味のある茶色。蔵に保管されていた。</p>			
写真	番号	27	
	品名	小椅子	
	部屋名	不明 [蔵]	
	W/D/H	時代	破損
	434/421/575	①？	B
	備考	(再用) ○	
<p>布地はベロア風。簡素なデザイン。背もたれの装飾はNo. 14「箆笥」NO. 24「組立式ベッド」と同じ。力布は三越製のものに似ている？(No. 32「安楽椅子」など)。蔵に保管されていた。</p>			
写真	番号	28	
	品名	小椅子（×2脚）	
	部屋名	不明 [蔵]	
	W/D/H	時代	破損
	320/430/720	①または②	A
	備考	(再用) △	
<p>中古の家具。脚の蟻害が顕著。その他脚つなぎの破損、座面布地劣化、合板の剥離などあり。蔵に保管されていた。「マルニ木工」のシール（昭和8-27[1933-1952]）付。</p>			






写真 	番号	29	
	品名	小椅子	
	部屋名	2階応接室? [蔵]	
	W/D/H	時代	破損
	432/480/1,090	①?	B
備考			(再用) ○
脚に蟻害あり。座面革張りは劣化顕著。張替え必要。中華風の意匠。脚のデザインはNO.7「花台」と同じ。背もたれは籐。塗装は赤味のある茶色。			
写真 	番号	30	
	品名	花台?	
	部屋名	2階応接室? [蔵]	
	W/D/H	時代	破損
	332/332/886	①?	B
備考			(再用) △
天板蟻害大。展示用でも張替え必要。中華風の意匠。塗装は赤味のある茶色。			
写真 	番号	31	
	品名	組立式ベッド(×2台)	
	部屋名	1階主人夫妻寝室? [蔵]	
	W/D/H	時代	破損
	968/2,120/900	①	A, B (1台は蟻害大)
備考			(再用) △
蟻害大。マット欠失。線形欠失。脚のデザインがNo.18「箆笥」NO.40「丸テーブル」と共通。ボードの装飾は階段室の彫桁石膏彫刻と同じもの。			
写真 	番号	32	
	品名	安楽椅子(×2脚)	
	部屋名	1階廣間階段室 [蔵]	
	W/D/H	時代	破損
	(770)/(750)/610?	①	B
備考			(再用) ○
布地は張替え必要。木部は健全。No.34「長椅子」とセット。展示には問題なし。古写真にて配置が確認できる。脚はタイル張床に置くことを考慮してか、鉄の突起が付いている。「三越」?			
写真 	番号	33	
	品名	安楽椅子(×2脚)	
	部屋名	1階主人書斎兼客室 [蔵]	
	W/D/H	時代	破損
	1,040/(722)/868	①	A, B (1脚は蟻害大)
備考			(再用) ○・×
もう1脚は蟻害大。再用は困難。また、同様のデザインの長椅子も蟻害が大きく、再用は困難。布地は抹茶色、脚は書斎家具に共通のもの。修理を施せば展示は可能か。「三越」?			

写真 	番号	34	
	品名	長椅子	
	部屋名	1階廣間階段室 [蔵]	
	W/D/H	時代	破損
	1,970/850/610	①	B
備考		(再用)	△
布地は劣化顕著だが、木部は健全か。展示での再用を検討。No.32「安楽椅子」とセット。細部意匠も同じ。古写真で配置が確認できる。「三越」?			
写真 	番号	35	
	品名	机	
	部屋名	1階主人書斎兼客室 [蔵]	
	W/D/H	時代	破損
	1,475/(910)/585	①	B
備考		(再用)	△
細部に欠失、破損が散見される。他の書斎家具と意匠は共通。塗装は濃い茶色。「三越」?			
写真 	番号	36	
	品名	肘掛椅子	
	部屋名	不明 [蔵]	
	W/D/H	時代	破損
	560/630/710	①?	C
備考		(再用)	○
籐椅子。籐が劣化。使用は不可だが、展示には問題なし。			
写真 	番号	37	
	品名	回転椅子	
	部屋名	不明 [蔵]	
	W/H	時代	破損
	φ345/(555)	①	B
備考		(再用)	○
革張りの劣化顕著。張替え必要。用途不明。塗装は濃い茶色。書斎の可能性もあるが、他に比べ細部意匠が簡素。「三越」			
写真 	番号	38	
	品名	寝椅子	
	部屋名	不明 [蔵]	
	W/D/H	時代	破損
	592/(1,315)/(990)	①?	B
備考		(再用)	○
籐の寝椅子。No.36「肘掛椅子」と同じ仕様。展示には問題なし。			

写真 	番号	39	
	品名	小椅子	
	部屋名	不明 [蔵]	
	W/D/H	時代	破損
	309/374/827	①か②	C
	備考	(再用) ○ 子供用の椅子か。布地はベロア風。布地の劣化や裏の布地の欠失など破損はあるが、木部は健全。座面に「マルニ木工」マーク（昭和8-27[1933-1952]）あり。	
写真 	番号	40	
	品名	丸テーブル	
	部屋名	1階応接室? [蔵]	
	W/H	時代	破損
	φ543/641	①	B
	備考	(再用) ○ 天板が外れる。脚のデザインがNo. 18「箆筥」No. 31「組立式ベッド」と同じ。塗装は薄い茶色。	
写真 	番号	41	
	品名	小椅子	
	部屋名	1階応接室? [蔵]	
	W/D/H	時代	破損
	430/480/813	①	C
	備考	(再用) ○ 脚のデザインはNo. 6「花台」と同じ。布地劣化、塗装剥落あり。展示は可。カ布（青線2本に中央に赤線1本）は三越製のものと共通。	
写真 	番号	42	
	品名	給仕台	
	部屋名	1階食室又は台所配膳室 [蔵]	
	W/D/H	時代	破損
	440/(637)/823	①	B
	備考	(再用) ○ 木部接合部に破損あり。タイヤゴム劣化顕著。タイヤには「OKUMAGO」印あり。脚デザインは他の食室家具と共通。「三越」?	
写真 	番号	43	
	品名	回転椅子	
	部屋名	不明 [蔵]	
	W/D/H	時代	破損
	420/410/730	①か②	C
	備考	(再用) ○ 座面はベロア風。塗装は透明ニス程度か。他に共通性の強いデザインの椅子がない。	






写真 	番号	44	
	品名	手あぶり火鉢？	
	部屋名	不明 [蔵]	
	W/H	時代	破損
	φ 310/600	①か②	C
	備考	(再用) ○	
中は銅製桶。若干和風の意匠。あまり共通性の強い他の家具は現存しない。			
写真 	番号	45	
	品名	角棚	
	部屋名	2階廣間階段室？ [蔵]	
	W/D/H	時代	破損
	760/(550)/995	①	C
	備考	(再用) ○	
棚板受け破損。脚と下部の縁デザインはNo. 25「安楽椅子」と共通。同じ部屋に配置か。塗装は薄い茶色。「三越」			
写真 	番号	46	
	品名	丸テーブル	
	部屋名	不明 [蔵]	
	W/H	時代	破損
	φ 645/600	①	B
	備考	(再用) ○	
天板剥離（にかわの劣化）。No. 40「丸テーブル」とデザインの共通性あり。脚のデザインは他の家具に共通のものが現存しない。			
写真 	番号	47	
	品名	籠	
	部屋名	1階脱衣室化粧室？ [蔵]	
	W/D/H	時代	破損
	560/442/660	①か②	C
	備考	(再用) ○	
若干の破損あり。			
写真 	番号	48	
	品名	座卓	
	部屋名	不明 [蔵]	
	W/H	時代	破損
	φ 736/255	①か②	B
	備考	(再用) ○	
天板中心は円形板が取り外せる（φ 215）金具に発錆あり。			

写真 	番号	49	
	品名	テーブル	
	部屋名	2階応接室? [蔵]	
	W/D/H	時代	破損
	757/453/440	①?	C
	備考	(再用)	○
中華風の意匠。塗装は赤味のある茶色。			
写真 	番号	50	
	品名	衝立	
	部屋名	2階夫人室? [蔵]	
	W/D/H	時代	破損
	408/22/1, 155	①?	B
	備考	(再用)	○
葦。栈木にゆるみ。蝶番は真鍮釘止め。			
写真 	番号	51	
	品名	座卓	
	部屋名	2階夫人室? [蔵]	
	W/D/H	時代	破損
	895/895/323	?	C
	備考	(再用)	○
洋館で使用した家具か不明。中華風だが、他に同様の意匠の家具は現存しない。			
写真 	番号	52	
	品名	ペンダントライト	
	部屋名	不明	
	W/D/H	時代	破損
	φ150/707	①	B
	備考	(再用)	△
当初の照明器具。取付箇所は不明。			
写真 	番号	53	
	品名	ペンダントライト	
	部屋名	不明	
	W/D/H	時代	破損
	φ310/715	①	B
	備考	(再用)	△
当初の照明器具。取付箇所は不明。			

<p style="text-align: center;">写真</p> 	番号	54	
	品名	ランプシェード	
	部屋名	不明	
	W/D/H	時代	破損
	φ 300/270	?	A
	備考	(再用)	
どこで使用されたものか不明。シェードに割損あり。			
<p style="text-align: center;">写真</p>	番号		
	品名		
	部屋名		
	W/D/H	時代	破損
	備考	(再用)	
<p style="text-align: center;">写真</p>	番号		
	品名		
	部屋名		
	W/D/H	時代	破損
	備考	(再用)	
<p style="text-align: center;">写真</p>	番号		
	品名		
	部屋名		
	W/D/H	時代	破損
	備考	(再用)	
<p style="text-align: center;">写真</p>	番号		
	品名		
	部屋名		
	W/D/H	時代	破損
	備考	(再用)	